

ユーザーズマニュアル

アイマックス エディタ

iMAX Editor 1J

UM-iMAX Editor-A-06020

このたびは、iMAX シリーズ用エディタソフト iMAX Editor (アイマックスエディタ)をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本ソフトの優れた機能をご理解頂き、末永くご愛用頂くためにもこのマニュアルをよくお読み下さい。

目次		
1	概要	2
2	特長	2
3	iMAX シリーズ用コントロールデータ作成手順	2
4	動作環境	3
5	適用CFカードと音源データの登録時間	3
6	適用音源データ(WAVEファイル)	3
7	ソフトのダウンロードとキーコード(KEY CODE)の入手	3
8	ソフトのインストールとアンインストール	4
9	ソフトの初回起動 (使用許諾契約の同意とユーザー情報登録)	5
10	KEY CODE入力	6
11	作業手順 (音源データの準備-音源データ登録-コントロールデータ作成)	6
12	エディタ画面(編集画面)の説明	7
13	詳細設定	8
	■使用機種 ■Voice データ登録 ■LED設定 ■BUZZAR 設定	8
	■データ保存先 ■ユーザー情報/KEY CODE	
14	音源データ(WAVE ファイル)の登録	10
15	コントロールデータの編集	11
16	テスト機能(机上シミュレーション)	13
17	コントロールデータ作成	14
18	コントロールデータのCFカードへコピー	14
19	印刷	15
	■パソコン録音で音源データ(WAVEファイル)を作成する場合	15
	■テキスト音声変換ソフトで音源データ(WAVEファイル)を作成する場合	16
	■オーディオ CD/MP3・WMA・MIDI ファイルから音源データ(WAVEファイル)を作成する場合	16

【iMAX シリーズでは再生できない WAVE ファイル】

本ソフト上(パソコン上)で再生するが、iMAX シリーズ上では再生できない WAVE ファイルがあります。

●主に出所不明な WAVE ファイル

(注)拡張子は.wav ですが、実際は違うファイル形式。パソコン上では再生しています。

●ヘッダー情報は一般的ではない WAVE ファイル

(注)一部に録音ソフトで作成した場合、ヘッダー情報が一般的でない場合、iMAX 上では再生できません。この場合、WindowsOS 付属の「サウンドレコーダ」で読み込み、保存すると使用できる場合があります。

VoiceNavi 三共電子株式会社

〒389-1102 長野県長野市豊野町大倉3500-17

TEL 026-257-6210 FAX 026-217-2893

E-mail:info@voicenavi.co.jp

URL:http://www.voicenavi.co.jp

1. 概要

パソコン上で試聴しながら iMAX シリーズのカードデータを作成するソフトウェアです。
 エディタ画面上で入力端子(アドレス)毎に音声・音響データの選択と組立再生・リピート回数を設定すれば OK!
 作成したカードデータを CF カードにコピーして iMAX シリーズにセットして使用します。

2. 特長

■ 試聴しながら作成

エディタ画面上で試聴しながら音源データ(WAVE ファイル)の登録、入力端子(アドレス)毎に音源データの選択登録ができます。

■ プログラム登録

1アドレス(接点端子)に最大4WAVEファイルの組立再生、最大5回までのリピート回数登録ができます。

■ データコピー・バックアップ

作成したカードデータ(テキストファイル)、登録した音源データ(WAVE ファイル)は、簡単にコピー・バックアップできます。

■ 音源データの追加・変更が容易です

既存ファイル読み込み、音源データ(WAVE ファイル)の追加登録・削除・移動ができます。

■ カードデータ作成情報

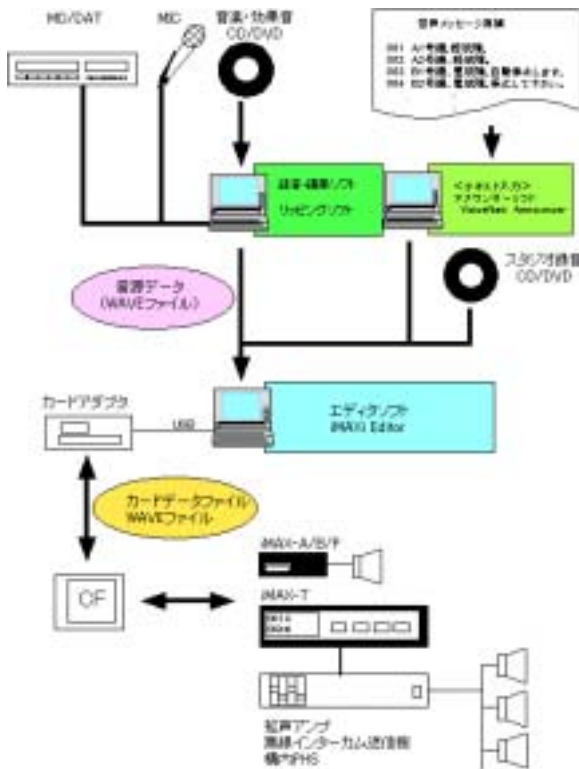
件名、作成者、作成日などのカードデータ作成情報をカードデータ内に記録できます。

■ データ情報の印刷

音源データ(WAVEファイル)登録情報・カードデータ作成情報を印刷できます。

3. iMAX シリーズ用コントロールデータ作成手順

■ カードデータの作成方法(音源データの登録・追加変更並びに組立再生・リピート回数の設定)



[音源データ(WAVE ファイル)の用意]

パソコン上でマイク・ライン入力による録音、スタジオ録音、テキスト音声変換ソフトなどにより音源データ(WAVE ファイル)を作成・用意します。

[音源データ(WAVE ファイル)の登録]

エディタソフト iMAX Editor の WAVE ファイル登録画面で使用予定の音源データ(WAVE ファイル)を登録します。試聴できます。

[入力端子・アドレス登録・プログラム登録]

エディタソフト iMAX Editor の TOP 画面(アドレス登録・プログラム登録)で各端子毎に音源データ(WAVE ファイル)を登録します。

この際、1端子最大4データまでの組立再生、5回までのリピート再生などのプログラム登録ができます。

IN No.	R	VOICE			
		1	2	3	4
001	1	a001	a002	a003	a004
002	1	b001	b002		
:	:	:	:		
068	3	z001	z002		

[iMAX-T シリーズの優先順位 ABC の設定]

iMAX-T 本体のタッチパネルLCD上で、入力端子毎に設定します。

4. 動作環境

パソコン	下記 OS 搭載に Windows マシン WindowsXP/2000
メモリ	256MB 以上
ハードディスク	登録する音声・音響データ(WAVE ファイル)の空き容量は必要
適用カードアダプタ	USB 接続タイプ(または PC カードタイプ) 「CF カード」対応用

5. 適用CFカードと音源データの登録時間

iMAX シリーズで市販の CF カードを記憶媒体として使用します。

カード容量	音声・音響データの登録時間	
	22.05KHz 16Bit 時	44.1KHz 16Bit 時
32MB	約 11 分	約 5 分
64MB	約 22 分	約 11 分
128MB	約 44 分	約 22 分
256MB	約 88 分	約 44 分

【推奨 CF カード】パツファロー製 RCF-X シリーズ

なお、カード本体の不良に関しては、当社では保証・対応していません。カードメーカーへ返却・修理願います。

■カードの脱着 必ず、電源 OFF 状態でカードの脱着を行って下さい

■デジカメで使用したカードの場合 【フォーマット】FAT(FAT16)

(注)FAT32 や NTFS フォーマットは iMAX シリーズでカード認識できません

6. 適用音源データ(WAVEファイル)

本ソフト並びに iMAX シリーズで使用できる音声・音響データ(WAVEファイル)は次の通りです。

【適用ファイル名形式】 8.3形式 (アルファベット英数字8文字表示) [例]12345678.wav aaaaa123.wav

[注]ロングネームのファイル名はご使用できません。-, (), {}などが入ったファイル名は使用できません。

【1ファイル容量制限】 64MB 未満

【推奨サンプリングモード】 44.1KHz 16Bit/8Bit Mono または 22.05KHz 16Bit/8Bit Mono (注)ステレオデータ不可

【iMAX シリーズでは再生できない WAVE ファイル】

●主に出所不明な WAVE ファイル

(注)拡張子は.wav ですが、実際は違うファイル。パソコン上では再生しています。

●ヘッダー情報は一般的ではない WAVE ファイル

(注)一部に録音ソフトで作成した場合、ヘッダー情報が一般的でない場合、iMAX 上では再生できません。
この場合、WindowsOS 付属の「サウンドレコーダ」で読み込み、保存すると使用できる場合があります。

●ファイル名が上記の適用ファイル名形式ではない場合

(注)エディタ上では再生してしまう場合がある。

7. ソフトのダウンロードとキーコード(KEY CODE)の入手

当社のホームページ www.voicenavi.co.jp からダウンロードします。

本ソフトを使用する場合、KEY CODE が必要ですので、オンラインユーザー登録して KEY CODE を事前に入手してください。

■ソフトウェアの入手

下記のホームページからダウンロードして下さい。

[ホームページ] www.voicenavi.co.jp

■KEY CODE の入手 iAX シリーズ製品未購入でも配布します。
KEY CODE 入力しないとフル機能が使用できません。
オンラインユーザー登録後、E-mail でKEY CODE を送付します。
iAX シリーズ製品未購入でも配布します。

インターネットの場合	www.voicenavi.co.jp サポート ユーザー登録
インターネット環境のない場合	下記事項を記載の上、FAX 026-268-3105 送付してください。FAX で送付します。 (記載事項) 製品型式 iMAX Editor 会社名、氏名、住所、TEL FAX

(注)平日の場合 当日または翌日 土日祝日の場合 月曜日 当社休業日の場合 翌日

8. ソフトのインストールとアンインストール

ダウンロードした場合は、圧縮ファイルを解凍後、setup ボタンをクリックしてインストールします。
CD-ROM 版の場合は、CD-ROM 内の setup ボタンをクリックしてインストールします。

■インストール



XP の場合、ワンクリックで自己解凍します。
しない場合、フリー・シェアウェア・販の解凍ソフトで解凍します。



解凍しますと IMAX****のフォルダーができます。



XP/2000 の場合、アドミニストレーター権限がある方がインストールして下さい。
パソコン上の他のプログラムを全て終了します。
「Setup」プログラムをクリックしてください。



左記の画面が表示されます。



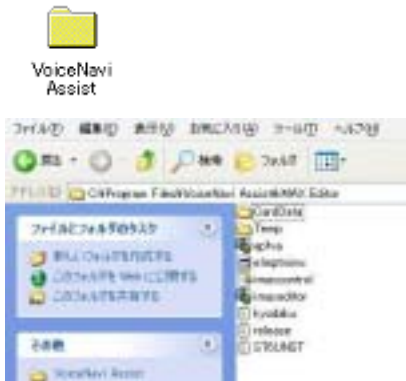
ディレクトリを変更する場合は、ディレクトリ変更ボタンで変更してインストールして下さい。
変更がない場合、| Program Files | VoiceNavi Assist | IMAX Editor 1J |内
にインストールします。



また | スタート | プログラム | メニュー内にショートカット VoiceNavi Assist を作成します。
ショートカット VoiceNavi Assist 内に FVA ControlEditor のショートカットを作成します。



[ソフトの収納先]



インストールしたソフトは Program 内の VoiceNavi Assist フォルダに収納されます

フォルダ iMAX Editor 内に左記の実行ファイルやフォルダが収納されます。

【テクニック】

CF カードにコピーする関係上、デスクトップ・My Documents にショートカット置くと便利です。

■アンインストール

| スタート | 設定 | コントロールパネル | アプリケーションプログラムの追加・削除 | 本ソフトを指定し、削除して下さい。

(注) プログラム内 CardData(コントロールデータファイル)などはバックアップ後、別に削除して下さい。

9. ソフトの初回起動 (使用許諾契約の同意とユーザー情報登録)

初回のソフト起動時に、使用許諾契約の同意、次にユーザー情報を行います。

■使用許諾契約



使用許諾契約画面が表示されます。
内容を確認の上、同意します。

■ユーザー情報登録



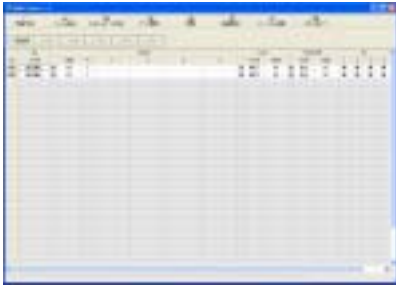
ユーザー情報登録画面が表示されます。
入力項目を正しくご記入ください。

(注)

本登録事項は著作権保護のために、本ソフトで作成したコントロールデータファイル iMAX に記録されます。

終了ボタン ON で(初期)エディタ画面を表示します。

■エディタ画面（初回画面）



左記の画面は KEY CODE 入力されていない場合です。

10. KEY CODE 入力

事前に、ホームページ上でユーザー登録して、KEY CODE を受領して下さい。



| 詳細設定 | ユーザー情報/KEY CODE | 画面で KEY CODE を入力します。

【KEY CODE 入手先】

www.voicenavi.co.jp | サポート | ユーザー登録 |

11. 作業手順（音源データの準備—音源データ登録—コントロールデータ作成）

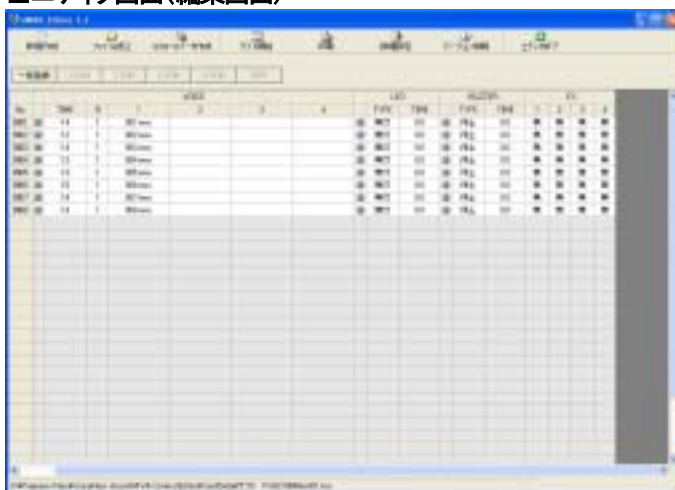
新規にカードデータ作成は下記の手順で行います。

No.	項目	作業内容
1	音源データ(WAVE ファイル)の用意	音源データ(WAVE ファイル)は、適当な名前を付けたフォルダ内に収納しておきます。
2	データ保存先の設定	詳細設定 データ保存先 で上コントロールデータを保存する場所を設定します。 ■作成したカードデータの収納先 [デフォルト] C:\ProgramFiles\iVoiceNavi Assist\iMax Editor\CardData
3	機種設定	本エディタソフトは pMAX シリーズ専用です。 モード変更はできません。
4	音源データ(WAVE ファイル)の登録・試聴	詳細設定 Voice 登録 画面で使用したい音源データ(WAVE ファイル)を登録します。 WAVE ファイル登録画面上で登録した音源データ(WAVE ファイル)を個別・一括で試聴できます。
5	LED 設定	【LED 出力機能を有する機種の場合】 詳細設定 LED 設定 画面で点灯点滅パターンを設定します。
6	BUZZAR 設定	【LED 出力機能を有する機種の場合】 詳細設定 BUZZAR 設定 画面で鳴動パターンを設定します。
7	接点端子・アドレス登録 (プログラム登録)	エディタ画面上で接点端子・アドレスに音源データ(WAVE ファイル)を登録します。 その際、組立再生・リピート回数再生などのプログラム登録ができます。 【LED/BUZZAR/EX 出力機能を有する機種の場合】 LED/BUZZAR/EX 出力の設定をします。

8	簡易テスト	エディタ画面上で個別・一括でテストできます。 音源データ-試聴/画面上ボタン点灯 LED-画面上ボタン点灯 BUZZAR-画面上ボタン点灯
9	コントロールデータ作成	コントロールデータ作成 画面で、収納フォルダ名、データファイル名、作成者などの作成情報を入力し、データ作成
10	ドキュメント出力	印刷 画面で必要に応じて、レポート出力します
11	カードデータのコピー (市販カードアダプタ経由)	Program Files \VoiceNavi Assist\ iMax Editor CardData 入力したフォルダ名 内のカードデータファイル .imx と音源データファイル .wav を市販のカードアダプタ経由で CF カードへコピーします。
12		

12. エディタ画面(編集画面)の説明

■エディタ画面(編集画面)



(注)
詳細設定-機種設定での設定で登録点数・アドレス数が異なります。





LED/BUZZAR/EX は搭載していない機種では、入力項目は無効になります。

■メニューボタン

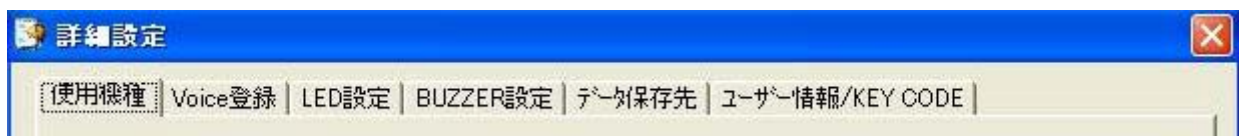
メニューボタンで各機能を選択できます。



ボタン	ボタン名	内容
	新規作成	コントロールデータを新規作成します。
	ファイル読込	作成したコントロールデータを読み込みできます。 (注)ファイル保存はコントロールデータ作成で行います。
	コントロールデータ作成	本画面上で所定データを入力してコントロールデータを作成します。
	テスト開始	簡易テストができます。

	印刷	本画面上で各種情報の印刷ができます。
	詳細設定	本画面上で Voice データ登録、LED 点灯点滅パターン設定、ブザー鳴動パターン設定、システム設定を行います。
	バージョン情報	バージョン情報を記載しています。
	編集画面を閉じる	本ソフトを終了します。

13. 詳細設定



コントロールデータの編集を行う前に、詳細設定画面で下記データを設定します。

使用機種	使用するコントローラの型式を設定します。 この設定で、画面上で入力できる入力端子(アドレス)数が設定されます。 作成するコントロールデータファイル名や保存先のフォルダー名を設定できます。
Voice 登録	使用したい音声・音響データ(WAVE ファイル)を事前登録します。 エディタ画面上では、事前登録した音声・音響データから選択します。 音声・音響データはエディタ画面上では何回でも使用できます。
LED点灯点滅パターン設定	点滅パターンを時間設定して3パターン設定できます。 エディタ画面上では、設定した3パターン以外に無灯、点灯(連続)を加え、5パターンから選択できます。
ブザー鳴動パターン設定	鳴動パターンを時間設定して3パターン設定できます。 エディタ画面上では、設定した3パターン以外に停止、鳴動(連続)を加え、5パターンから選択できます。
データ保存先	作製したコントロールデータの保存先を設定できます。 【デフォルト】 Program File VoiceNavi Assist iMAX Editor Card Data
ユーザー情報/KEY CODE	KEY CODE を入力します。 ユーザー情報を表示します。

■使用機種



本画面で、使用機種(実際は入力点数)は選びます。

使用機種により、エディタ画面の入力点数が切り替わります。

(注)

LED/BUZZAR/EX は搭載していない機種では、入力項目は無効になります。

■Voice データ登録



本画面で音声・音響データ(WAVE ファイル)を事前登録します。
ここで登録した音声・音響データ(WAVE ファイル)はエディタ画面で何回でも使用することができます。

■LED設定



【適用機種】 LED 出力回路を有する製品
LED 表示灯の点滅パターンを設定します。
無灯、点灯(連続)はエディタ画面上で選択できます。

[テスト機能]

プレビューの口欄をチェックしますと、画面上の LED ランプ表示が点灯点滅します。

(注)

テスト機能の LED ランプ表示の点灯点滅は、パソコン本体の機能に依存しています。実際の場合、iMAX シリーズと接続する LED 表示灯により若干、点灯点滅スピードが異なる場合もあります。

■BUZZAR 設定



【適用機種】 ブザー出力回路を有する製品
ブザー鳴動(断続)パターンを設定します。
停止、連続はエディタ画面上で選択できます。

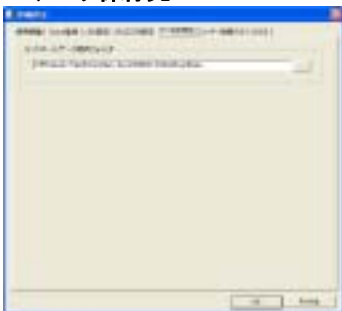
[テスト機能]

プレビューの口欄をチェックしますと、画面上の LED ランプ表示が点灯点滅します。

(注)

テスト機能の LED ランプ表示の点灯点滅は、パソコン本体の機能に依存しています。実際の場合、iMAX シリーズと接続するブザーにより若干、鳴動スピードが異なる場合もあります。

■データ保存先



作製したコントロールデータの保存先を設定できます。

【デフォルト】

| Program File | VoiceNavi Assist | iMAX Editor | Card Data |

■ユーザー情報/KEY CODE



インストール時に登録したユーザー情報を表示します。

(注)

変更できません。

ユーザー情報は作成したコントロールデータに付記されます。

【KEY CODE】

KEY CODE 入力後、入力は非表示になります。

14. 音源データ(WAVE ファイル)の登録

| 詳細設定 | Voice 登録 | 画面で音源データ(WAVE ファイル)を事前登録します。
ここで登録した音声・音響データ(WAVE ファイル)はエディタ画面で何回でも使用することができます。

登録できる WAVE ファイル名	8.3 形式 (アルファベット英数字 8 文字表示) [例]12345678.wav aaaaa123.wav [注]ロングネームのファイル名はご使用できません。 -, (), []などが入ったファイル名は使用できません。
サンプリングモード	44.1KHz 16Bit/8Bit Mono 22.05KHz 16Bit/8Bit Mono (注)ステレオデータ不可



【登録上のご注意】

同一ファイル名を重複して登録できません。
登録した音源データ(WAVE ファイル)は、カードデータ作成時、全て CardData 内に複写します。

ファイル選択	指定したフォルダ内の音声・音響データ(WAVE ファイル)をファイル単位で個別登録します。シフトキーなどを使用して複数ファイルを選択できます。ファイル全てを選択した場合は一括登録できます。
フォルダ選択	指定したフォルダ内の音声・音響データ(WAVE ファイル)を一括で登録します。
上へ移動	移動する場合、上下の矢印をクリックします。削除する場合は、削除ボタンをクリックします。
下へ移動	再生したい WAVE ファイルをクリックし、試聴ボタンをクリックします。
試聴	指定した No.を再生出力します。
全試聴	No.1 から順番に再生出力します。
削除	指定した No.の音声・音響データ(WAVE ファイル)を削除します。
全削除	全ての音声・音響データ(WAVE ファイル)を削除します。

■フォルダ一括登録/ファイル単位個別登録



音声・音響データ(WAVE ファイル)はフォルダ単位の一括登録またはファイル単位の個別登録、できます。

左図はファイル選択ボタンで、音声・音響データ(WAVE ファイル)の収納されているフォルダを指定し、フォルダ内の WAVE ファイルを選択して登録します。

【iMAX シリーズでは再生できない WAVE ファイル】

(注)

本ソフト上(パソコン上)で再生するが、iMAX シリーズ上では再生できない(iMAX シリーズでは認識できない) WAVE ファイルがあります。

●主に出所不明な WAVE ファイル

(注)拡張子は.wav ですが、実際は違うファイル。パソコン上では再生しています。

●ヘッダー情報は一般的ではない WAVE ファイル

(注)一部に録音ソフトで作成した場合、ヘッダー情報が一般的でない場合、iMAX 上では再生できません。この場合、WindowsOS 付属の「サウンドレコーダ」で読み込み、保存すると使用できる場合があります。

●ファイル名が上記の適用ファイル名形式ではない場合

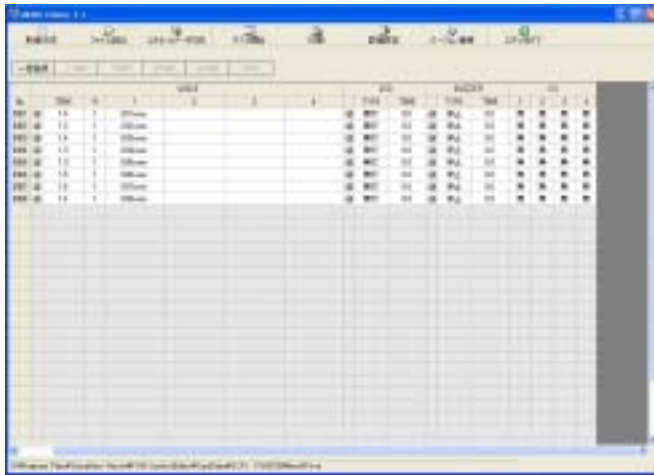
(注)エディタ上では再生してしまう場合がある。

15.コントロールデータの編集

エディタ画面で接点端子(またはアドレス)毎に音源データを登録します。

その際に、最高4データまでの組立再生、5回までのリピート回数再生などのプログラム登録ができます。

LED/BUZZAE/EX 出力は本機能を有した商品のみ、入力したデータが有効になります。



(注)

LED/BUZZAE/EX 出力は機能を搭載した製品のみ有効になります。

【項目の説明】

No.	入力端子 No. アドレス	01- 8 01-16 1-255	入力端子 No.(またはアドレス)
VOICE	音源データの制御	●	テスト機能用 音声出力をランプ点灯形式で表示します。 オーディオ機能を有するパソコンの場合、実際にスピーカー出力します。
		R	リピート回数を選択します 1回~5回 (注)下記の組立再生が有る場合、全体をリピートします
		1-4	音声・音響データ(WAVE ファイル)を選択登録します。 最大4データまでの組立再生出力ができます。
LED	接続した LED表示灯の制御	●	テスト機能用 ランプ点灯点滅
		TYPE	下記のタイプを選択します。 無灯 点灯 減A 減B 減C
		TIME	時間を入力します。
BUZZER	接続した ブザーの制御	●	テスト機能用 ブザー鳴動をランプ点灯点滅形式で表示します。
		TYPE	下記のタイプを選択します。 停止、鳴動、鳴A 鳴B 鳴C
		TIME	時間を入力します。
EX	予備外部出力	1-4	外部出力を有する使用機種の場合、出力の有無を設定できます。 (注)外部出力の内容・有無は使用する機種を仕様をご確認下さい。

●音源データ・LED 表示灯・ブザー等のデータ入力

入力端子 (IN No.)に該当する音源データ・LED 表示灯・ブザー等のデータを入力します。

(注) LED(LED 表示灯)、EX(外部連動出力)の接続できる数は使用するコントローラの仕様によります。

【音源データの登録】

VOICE		
TIME	1	2
1.4	001.wav	
1.2	001.wav	
1.4	001.wav	
1.3	004.wav	
1.3	000.wav	
1.5	007.wav	
1.4	000.wav	
1.4	010.wav	
1.4	011.wav	
1.4	012.wav	
1.4	013.wav	
1.4	014.wav	
1.7	015.wav	
1.6	022.wav	
1.7	003.wav	
1.7	004.wav	
2.4	100.wav	
0.0		

詳細設定の VOICE 登録画面で事登録した音源データ(WAVE ファイル)から選択・登録できます。

(注)

TIME(時間)は入力できません。

音声・音響データ(WAVE ファイル)が有する時間を表示します。

プログラム登録をした場合、合計時間を表示します。

VOICE		
TIME	1	2
1.4	001.wav	
1.2	001.wav	
1.4	001.wav	
1.3	004.wav	
1.3	000.wav	
1.5	007.wav	
1.4	000.wav	
1.4	010.wav	
1.4	011.wav	
1.4	012.wav	
1.4	013.wav	
1.4	014.wav	
1.7	015.wav	
1.6	022.wav	
1.7	003.wav	
1.7	004.wav	
2.4	100.wav	
0.0		

【組立再生・リピート回数などのプログラム登録】

●組立再生

最大 4 データまでの組立再生ができます。

(例) ビー・ビー+A1 号機+材料セット+異常発生

●リピート回数

最大 5 回まで選択できます。(組立再生の場合は全体で)

(注) TIME(時間)は入力できません。

組立再生の合計時間、リピート回数分の自動計算表示です。

【LED 表示灯出力】

LED		
	TYPE	TIME
●	滅A	3.0
●	無灯	3.0
●	点灯	3.0
●	滅A	3.0
●	滅B	3.0
●	滅C	3.0
●	滅B	3.0
●	滅B	3.0

(注)本機能搭載製品のみ本データ有効

LED 表示灯の点灯点滅パターンを選択します。

LED		
	TYPE	TIME
●	滅A	3.0
●	滅A	3.0
●	滅A	3.0
●	滅A	3.0
●	滅B	3.0

時間入力します。

【ブザー出力】

BUZER		
	TYPE	TIME
●	停止	0.0
●	停止	0.0
●	鳴動	0.0
●	鳴A	0.0
●	鳴B	0.0
●	鳴C	0.0
●	停止	0.0
●	停止	0.0

(注)本機能搭載製品のみ本データ有効

ブザー鳴動パターンを選択します。

(注)音声・音響データ出力する場合、停止に設定して下さい。

BUZER		
	TYPE	TIME
<input checked="" type="radio"/>	停止	0.0
<input type="radio"/>	停止	0.0
<input type="radio"/>	停止	0.0
<input type="radio"/>	停止	0.0
<input type="radio"/>	停止	0.0
<input type="radio"/>	停止	0.0

時間入力します。

【EX出力】

EX				
	1	2	3	4
有	有	無	無	無
無	有	無	無	無
有	有	無	無	無
有	有	無	無	無
有	有	無	無	無

(注)本機能搭載製品のみ本データ有効
本出力機能の有無・内容は製品仕様によります。
(注)原則として「無」に設定してご使用下さい

16. テスト機能(机上シミュレーション)

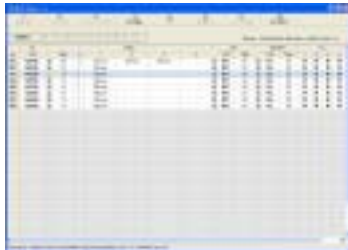
テスト機能により、本画面上で擬似テストをすることができます。

本テスト機能を利用して、エディタ内容を確認・修正できます。

(ご注意)

本テストによる LED 点滅パターン、ブザー鳴動パターン、音声・音響データの音質・音色はパソコンの機能によって多少異なる場合があります。また IMAX シリーズ上でも同様です。

■テスト一別行



IN No.や表示ボタンをクリックするとその行のデータをテストできます。

実行中の行は青色で表示します。

音源データはパソコンのオーディオ機能により再生出力します。

LED・ブザーは設定したパターン・時間で点灯点滅します。

Voice も再生以外に点灯します。

■テスト一括



テスト開始ボタンONで、IN01から順番にテストします。(一括テスト)
個別テストは下記方法で該当する入力端子(アドレス)をテストできます。

1.テストしたい IN No.の LED のテストマークをマウスでクリックする。

2.テストしたい IN No.をマウスでクリック後、テスト開始ボタン ON

実行中の行は青色で表示します。

音源データはパソコンのオーディオ機能により再生出力します。

LED・ブザーは設定したパターン・時間で点灯点滅します。

Voice も再生以外に点灯します。

17. コントロールデータ作成

エディタ画面でデータ入力、テストが終了しましたら、コントロールデータ作成画面に所定事項を入力し、コントロールデータを作成します。

作成したコントロールデータは| Program Files | VoiceNavi Assist | iMAX Editor | CardData | 作成フォルダ名 | 内にコントロールデータファイル.fva を作成後、WAVE ファイル .wav を収納先から複写します。

【コントロールデータ作成画面】



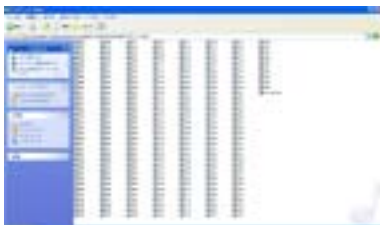
(注) * は必須入力事項です。

コントロールデータファイル名
8.3 形式 アルファベット 英数字 (例) abc.001.fva (注) -() [] 等不可

作成フォルダ名
全角 14 文字まで (例) A11ライン 異常報知



コントロールデータは| Program Files | VoiceNavi Assist | iMAX Editor | CardData | 作成フォルダ名 | 内に作成されます。



作成フォルダ名 | 内にコントロールデータファイル***.imx を作成後、WAVE ファイル .wav を収納先から複写します。

18. コントロールデータのCFカードへコピー

作成した| Program Files | VoiceNavi Assist | iMAX Editor | CardData | 作成フォルダ名 | 内のコントロールデータ(fva ファイルと wav ファイル)を市販の USB カードアダプタ等を使用して CF カードにコピーします。

- (注)
- USB カードアダプタのアクセス LED が点滅終了後、2-3 秒経過後に CF カードを脱着して下さい。
アクセス LED が点滅終了しても、実際はデータをコピー途中です。コピー途中で CF カードを脱着すると CF カードは破損します。
 - フォルダ毎コピーしますと、iMAX シリーズ上ではコントロールデータを認識できません。
 - CardData のショートカットを My Document 内に作成しますと便利です。

19. 印刷



カードデータ作成後、本画面の印刷ボタンで印刷できます。
左記の情報を印刷できます。

【参考資料】

■パソコン録音で音源データ(WAVEファイル)を作成する場合

お手持ちのパソコンにマイク・オーディオ機器を接続して録音・編集できます。
録音編集ソフト上の録音レベルメーターでレベル調整しながら録音し、前後の無音データをカットし、保存します。

【録音機器】

区分	内容	録音編集ソフト
通常	パソコンのマイク・ライン入力	フリーウェアまたは市販ソフトを推奨。
ハイレベル	PC+市販 USB サウンドユニット経由でマイク・ライン入力	添付ソフト

(注)1.市販 USB サウンドユニット— SE-U33GXP・SE-U55GX(ONKYO 製)他

2.パソコン録音に適したパソコンは Windows XP/Vista 搭載のノート PC・デスクトップ PC です。

【録音編集ソフト】 (注)USB サウンドユニット使用に場合、添付ソフトをご利用下さい。

区分	ソフト名	概要
市販ソフト	Soundit ! 「サウンドイット」	市販品 9,800 円 録音編集ソフト 非常にわかりやすい画面・操作で未経験者でも即使用できる。 これ 1 本で、パソコン録音、音楽 CD からリップング、ファイルコンバート、データの加工編集ができます。
フリーウェア	SoundEngine (サウンドエンジン)	フリーウェアの定番ソフト 録音編集はこの一本で OK。編集機能も充実しています。 録音レベルメーターがあるので、録音もし易い。
	WavePaseri (ウェーブパセリ)	シンプル操作・日本語表示でわかりやすい。 録音・編集時間:5 分 max. WAVE 録音 & 加工編集機能。 このソフトで物足りない方は市販ソフト[Sound It]をご利用下さい。
OS アクセサリ	サウンドレコーダー	WindowsOS 添付の録音・再生ソフトです。 スタート プログラム アクセサリ エンターテイメント 録音時間 :1 分 max. ファイル読込:上記制限はない (注)画面が小さく、加工編集は大変です。 録音レベルメーターがないので録音が大変です。 ファイルコンバート(ファイル保存)

(注)上記ソフト-評価済み。他に同様なソフトがありますが自社責任でお願いします。

フリーウェアは上記名称で検索・ダウンロードしてご使用下さい。

(一)口メモ

デジタル原音 WAVE AIFF オーディオ CD	アナログから D/A 変換した PCM 形式(パルスコードモジュレーション)のデジタル原音データを拡張子を付記して Window OSでは「WAVE」、MAC OS では「AIFF」を呼びます。 市販オーディオ CD のデータも PCM 形式です。
------------------------------------	---

	パソコン上ではオーディオデータは TRACK**と表示されます。
MP3/WMA 他	上記のデジタル原音 PCM から 1/4~1/10 データ圧縮変換したデータを圧縮変換方式により MP3/WMA データと呼びます。 本来、非可逆圧縮データですので本来の原音データには戻せないのですが、近年のコンバート機能を有する録音ソフトではWAVEファイルなどの原音データや他の圧縮データへ変換できます。
MIDI	近年のコンバート機能を有する録音ソフトでは WAVE/MP3 ファイル形式などへ変換できます。

■テキスト音声変換ソフトで音源データ(WAVEファイル)を作成する場合

市販のテキスト音声変換ソフトを使用して音源データ(WAVE ファイル)を作製できます。
音質やアクセント等の特質を理解の上、購入・ご使用下さい。

【テキスト音声変換ソフト】

名称	メーカー	メモ
ボイス君のテキストスピーチ 2	NTTデータ	Vector からダウンロード販売(8,500 円) CD版はありません。 現在、安価で入手できるテキスト音声変換ソフトはこの1本です。

【テキスト入力音声データ作成ソフト】

名称	メーカー	メモ
VoiceNavi Announcer 2J	三共電子	Excel 上で最大 255 メッセージまで試聴・作成できます。 Excel アドオンソフト ボイス君のテキストスピーチバンドル 推奨用途: 自社工場製造・検査ラインの音声警報・作業指示 音声メッセージの原稿内容評価

■オーディオ CD/MP3・WMA・MIDI ファイルから音源データ(WAVEファイル)を作成する場合

オーディオ CD からリッピング、音源データ(WAVE ファイル)の加工編集したい場合、市販ソフト Soundit を推奨します。
フリーウェアソフトで行う場合、自社責任で行って下さい。
(注)音源データの著作権につきましては自社責任で処理を行って下さい。

●オーディオ CD からのリッピングして WAVE ファイルを作成したい場合

区分	ソフト名	概要
フリーウェアソフト	CD2WAV32 日本語専用版有	フリーウェアでここまでできるかと驚嘆！ 音楽 CD 内の曲を選んで画面上でドラック&ドロップでリッピングで操作も簡単。ファイル名自動付記
市販ソフト	Soundit ! 「サウンドイット」	市販品 9,800 円 録音編集ソフト 非常にわかりやすい画面・操作で未経験者でも即使用できる。これ 1 本で、パソコン録音、音楽 CD からリッピング、ファイルコンバート、データの加工編集ができます。

(注)上記ソフト評価済み。他に同様なソフトがありますが自社責任でお願いします。

●圧縮ファイル MP3/WMA/MIDI などから WAVE ファイルを作成したい場合

区分	ソフト名	概要
市販ソフト	Soundit ! 「サウンドイット」	市販品 9,800 円 録音編集ソフト 非常にわかりやすい画面・操作で未経験者でも即使用できる。 これ 1 本で、パソコン録音、音楽 CD からリッピング、ファイルコンバート、データの加工編集ができます。

(注)上記ソフト評価済み。他に同様なソフトがありますが自社責任でお願いします。

●ステレオ→モノラル、48KHz→44.1KHz などからコンバートしたい場合

区分	ソフト名	概要
Windows OS 付属	CD2WAV32 日本語専用版有	サンプリング周波数・Bit 数・ステレオ/モノのコンバート・保存ができます。 (注)MP3/WMA/MIDI 等のコンバートはできません。
市販ソフト	Soundit ! 「サウンドイット」	市販品 9,800 円 録音編集ソフト 非常にわかりやすい画面・操作で未経験者でも即使用できる。 これ 1 本で、パソコン録音、音楽 CD からリッピング、ファイルコンバート、データの加工編集ができます。

(注)上記ソフト-評価済み。他に同様なソフトがありますが自社責任でお願いします。

VoiceNavi 三共電子株式会社

〒389-1102 長野県長野市豊野町大倉3500-17

TEL 026-257-6210 FAX 026-217-2893

E-mail: nfo@voicenavi.co.jp

URL <http://www.voicenavi.co.jp>